

北海之光

2月号 北海道教区報

どのような道を歩むときにも主を知れ
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる

箴言3章6節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshk-hokkaido.jp

http://www.nshk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴

150⁺
th

黙想としての旅 小笠原諸島・父島

札幌キリスト教会 牧師

司祭 クリストファー 永谷 亮

「多くの人が知っていて、ほとんどの人が行ったことのない小笠原」、これは小笠原観光協会のキャッチコピーですが、私はこれまで二度、父島を訪ねることができませんでした。最初は二〇二二年一月、笹森司祭(当時)が小笠原聖ジョージ教会の管理牧師をされていたときで、二度目は昨年一〇月に行われた「笹森主教と行く小笠原聖ジョージ教会」です。昨年一二月号の本紙報告記事でも触れています

月の訪問時、藤井八郎司祭の訃報に接しても船の出発に合わせるしか帰る方法はありません。しかし、私にはこの不便さ、船で二四時間もかかる父島への旅がまるごと心地が良いのです。初めて父島を訪ねて帰って来たときに感じた心身の充足は、二度目の旅を終えたときも同じで、その理由を私なりに考えてみました。

一、原則として六日に一便の「おがさわら丸」だけです。東京の竹芝桟橋から丸二四時間かけて父島・二見港へ到着し、父島に三泊した後、同じく二四時間かけて東京へと向かいます。飛行機もヘリコプターも無い父島への旅は不便極まりないのです。昨年一〇

：父島への旅をご一緒しましょう。まず、六日後の帰りの船までどうあがいても途中で帰ることができないので、仕事などは片付けておき、教会の緊急的な対応は同僚の牧師に協力をお願いします。おがさわら丸の出港に間に合うよう、前日に北海道から東京へ移動、翌一時に出港して、レインボーブリッジ、羽田空港、房総半島などを通っ

て太平洋へ。これから約二〇時間、携帯の電波は届かなくなり現代人には貴重で強制的な「スマホ断ち」となり、大洋上の船は、にわかには海の恐ろしささえ感じさせます。水平線に沈む夕日、包まれる星空、翌朝は遠くの小さな島々と朝日、そして父島へ到着。日本のどことも違う父島は北海道にはない自然、食文化、そして歴史があります。小笠原聖ジョージ教会を訪ね、お祈りすることから始め、ボンブルーといわれる、透き通った明るく碧い海に吸い込まれそうになるほど感動し、イルカと一緒に海の中で遊んだり、冬にはクジラの親子が跳ねる姿を間近に眺めたり。父島の自然と固有の動植物に神の創造への思いを馳せます。山中に残されたままになっている数々の戦跡は、この島が戦争に翻弄された歴史と、人びとの大変な苦勞をしのばせます。コンビニもな

く夜六時すぎると静かになる島。三泊を島で過ごし、現地四日目の午後三時、おがさわら丸は東京へ向けて出港するのです。ざっと父島への旅をご一緒しました。北海道から東京への移動と二四時間の航海は、いわば黙想への導入です。それまで置かれていた所から体験的・時間的にも「離れて」、頭と心と身体のスイッチが切り替えられます。そのうえで過さず、まるで違う環境での三泊四日。そしてさらに二四時間の航海で、元のところへとまた「帰って」来るのです。このように、移動を含む五泊六日の父島訪問は全体がひとつの黙想(リトリート)プログラムとされているかのように、このことから私は大きな充足を感じたのではないかなと思うのです。

今、わたしたちが過ごす大齋節は主のご復活への備えのときです。聖書や霊的な書物を読み、祈り、黙想、克己などによって、主のご復活の喜び、恵みに与る、ふさわしい、良き備えとなりますように。

―心の窓をひらく―

福音と私(二七七)

―今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか―

札幌キリスト教会信徒

スザンナ 山岡 みゆき



【私の好きな聖句】

神のなされることは皆その時
になつて美しい

(伝道の書三章一節・口語訳聖書)

元々弱かつた右膝が急に悪くなり、歩くことに困難さを覚えるようになったのは半年前でした。整形外科に行きましたが、検査で「変形性膝関節症」だとわかったものの、痛み止めを出されるだけの中で悪化し続け、そのうち正常だった左膝にも痛みを覚え、立ち座りもままならない状態になりました。

寝起きは何かに掴まらない



たつけ、何もできないってこんなに大変なんだと思い知らされる日々。絶望とまでは言わないまでも、先に逝つた母の許へ早く行きたいと願わずにはいられませんでした。

そしてここへきて「関節リウマチ」であることが判明しました。この原稿を書いている現在は、まだあらゆる検査を行っている最中で、リウマチの進行度合いや悪性(難治性)かどうかなど詳しいことはわかりませんが、リウマチは治療(薬物投与)を始めても効果が表れるのは半年後だと医者から言われました。まだ痛みと闘うのか…と思うと焦燥感に囚われます。

そんな中でも感謝なことは幾つもありました。杖をつきながらヨタヨタと何とか歩く私を見て、司祭始め信徒の方々が手を差し伸べてくださるようになりました。教会への送迎をしてくださる方々、お弁当を作ってくださいさり、食事に誘ってくださいる方々、奉仕を代わってくださいる方々、また住んでいるマン

ションでもゴミ出しを手伝ってくださいる青年など、何の恩返しもできない私なのに、神さまは本当に多くの助け手をお与えくださったのです。これら多くの支えがなければ、私は神さまに毎週礼拝をお捧げすることも、いや、日々の生活さえもできなかったと思います。

そしてどちらかという

せつがちで、スローペースな場面に苦々しさを覚えることもあった私が、この痛みを与えられ、己こそがゆつくりとした動きしかできなくなったことよって、人の様々なス

リードを受け入れられるようになりましたし、言葉も「ありがとう」が増えました。

もちろん、まだ冒頭の聖句のように「その時になつて美しい」とは思えません。鎮痛剤を日に四度も飲み、それでも痛みが消えない体で伝い

歩きをし、寝返りをうつたびに全身が痛むこの状態の中で

は、先ほど述べた感謝な思いさえ遥か彼方に吹き飛んでしま

います。

何とか希望を見出したい、

心

の支えを見つけたいと必死

になります。暗闇の中で「希望」という名の砂粒ほどの光

を見つけようとする作業はとても大変です。這いつくばって探しますが、なかなか見つけることができません。

しかしながら、今までの経験でわかっていることは、今はまだ「美しい」とは思えなくとも、何年、何十年か経って自分の人生を振り返った時、今のこの困難さも「神のなされることは皆その時になつて美しい」と思えるようになるのだということ。何年、何十年先、いや、もしかしたら死ぬ間際かもしれない。そんな気の遠くなるような時間の先に、それは訪れるのだからと思っています。それが私が今、唯一持っている「希望」なのです。

どうか、この経験によつて、心身に痛みを抱える人や、生活に困難を覚えている人の傍らに寄り添える者と私自身が変えられますように。

生きてるってこんなに辛かつ

た状態でした。

祈っても神さまはお答えにならない。私は何処に怒りをぶつけたらいいのかわからない状態でした。

「助けてください。癒してください」と祈っても

でもできると思っていたのに、何もできなくなつて

と立ち上がれず、便器から立つのに一〇分もかかり、通常であれば徒歩で一〇分しかか

からない地下鉄駅まで四〇分近くもかかる。眠っていても

膝がジクジクと痛み眠れない。長く立つてもいられないので家事もほとんどできず、

足が曲がらないので浴槽内に入れず、調子の良い時しか

シャワーを浴びれない。もちろん買物にも行けません。

今まではほとんどの事は一人でこなし、大抵のことは何でもできると自負していたのに、何もできなくなつて

しまった。「助けてください。癒してください」と祈っても

祈っても神さまはお答えにならない。私は何処に怒りをぶ

つけたらいいのかわからない状態でした。

生きてるってこんなに辛かつ

常置委員会報告
第三回 一月二六日

《協議事項》

一、北海道教区宣教協議会を
一〇月一四日に実施すること
とした。

北海道宣教協議会準備グ

ループを選任した。
二、今年度の諸プログラムに
ついて

宣教一五〇年記念関連行事
以外では、下記のを予定。
・五月一四日～一六日に、東
北教区との合同教役者会を仙
台で実施予定。

・六月三〇日に、出会いと交
わりの日を実施予定。
・夏の青少年プログラムを実
施したい。

・九月に「虹色のはこぶね」
のプログラムを実施予定
・一〇月三〇日～十一月四日、
主教と行く小笠原の旅を実施

予定。

・礼拝研修会・奏楽クリニッ
クは、日程未定

三、主教海外出張について下
記の三件を承認した。

・八月一二日、フィリピン聖
公会女性の司祭按手三三周年
記念礼拝説教者(マニラ)

・九月二六日、大韓聖公会ソ
ウル教区主教按手式(ソウル
大聖堂)

・一〇月二一日～二四日、日
韓聖公会宣教協働四〇周年記
念大会(済州島)

・一〇月二五日、日韓合同主
教会(済州島)

四、各教会より推薦を受け、
今年度の信徒奉事者について
主教に推挙した。

五、主教座聖堂間の交流とし
て札幌キリスト教会と仙台キ
リスト教会との説教壇交換
に、永谷司祭を派遣すること
とした。

六、教区役員候補者の人選を
行った。

七、四月以降の人事案につい
て主教よりの提示を受け同意
した。

十 教区逝去教役者
記念聖餐式

三月二三日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 遠藤 喬

一九八九年三月二日

伝道師 水科 五郎

一九九二年三月七日

伝道師 H・アンデレス

一九一八年三月七日

司祭 ベヴァレー・D・タッカー

二〇〇七年三月一〇日

伝道師 西村 ヒサ

一九二三年三月一六日

伝道師 フローレンス・E・ガーデー

一九七〇年三月一七日

司祭 ウイリアム・A・リープ

一九六六年三月一八日

司祭 吉川 孝

二〇一二年三月一八日

司祭 ジョージ・C・ニベン

一九五一年三月一八日

司祭 岸本 隆一

一九五三年三月二六日

伝道師 グレース・S・ステイブリン

一九四二年三月二九日

伝道師 中村 熊次郎

一九四九年三月三〇日



主教室から

す。

ことに長期化して
いる断水によって生
じている生活の困難

さは、想像もつきません。

厚生労働省によると一日一
人あたりの家庭での生活用
水はおよそ二三〇リットル
だそうです。水はいのちを

支え、また清潔を保ちます。
医療措置にも水は必要で

す。非常時の節水だけでも
厳しい状況であるにもかか

わらず、それを一ヶ月以上
もの間、自力で毎日運んだ

り、また確保のために奔走
しなければならなかったり

する体力と気力の維持は、
極めて困難なことです。

パレスチナのがザでも以
前から清潔な水の不足が大
きな課題になっていました

が、イスラエルの攻撃が続

く中でそれはますます深刻
になっていきます。生活のた
めの水がないという状況
は、当然ですがいのちの危
険につながります。

「主よ、渇くことがない
ように、また、ここに汲み
に来なくてもいいように、
その水をください。」(ヨハ

ネ四・一五b)と、どれほ
どの人々が世界中で今も叫
んでいることでしょうか。

叫び求める方々に、キリス
トが生きるための水と永遠

のいのちに至る水とを届け
ようとしてくださっていま

す。わたしたちもキリスト
のそのお働きに加えていた

だきたいと切に願います。
義 マリア・グレス 笹森 田鶴

堅信式受領
おめでとう

有珠聖公会

アンナ 茅野 千草

(二月二八日)



弘前昇天教会のある弘前市は、青森県の西部に広がる津軽平野に位置する人口一六万人の「お城とさくらとりんご」のまちです。江戸時代の弘前藩士の北方警備が縁となり、北海道斜里町と友好都市提携の盟約を締結しています。

弘前昇天教会



教会は今年で宣教開始一二七年、聖堂聖別一〇二年。信徒数は七〇名ほどです。聖堂はアメリカ人建築家ジェームス・ガーディナーが設計した赤レンガの建物です。明治時代に海を渡ってきたリードオルガンは、アメリカシヨニンガー社一八八二年製、今も現役で使用されています。

宣教一五〇年実行委員会だより (11)

司祭 サムエル 吉野 暁生

みなさんこんにちは。宣教一五〇年実行委員会です。

「一五〇年記念聖歌」をみなさんのところにお届けできることをお知らせいたします。歌詞と楽譜、音源を各教会にお届けしますので、七月の記念礼拝まで、じっくりと聞いて・歌って・取り組んでみてください。また、各教会には「黙想会」のお知らせが届いていることと思います。こちらもぜひ参加をご検討ください。一五〇年記念聖歌については作業グループの丸山悦子さんに思いを語っていただきました。

「一五〇年記念聖歌について」

セシリヤ 丸山悦子

二〇二三年二月、「宣教一五〇年を迎えるにあたり、北海道教区の聖歌を一緒に作りませんか？神様がともにいてくださって、これからも

ともに歩んでいきたい、こんな気持ちになることができます。聖歌を作りたいので、歌詞を公募します。」との呼びかけをいたしましたところ、教区内外から一八通のご応募がありました。実行委員会内の記念聖歌作業チームでは、宣教一五〇年記念礼拝でみんな

歌って神様を賛美したい、ということはもちろんですが、その先もずっと歌い続けられる聖歌、こどもから高齢の方までみんなが口ずさめる聖歌、北海道の人はもとより、他教区の人々にもわかりやすい聖歌を作ろうということを考えて、みなさんからいただいた言葉、フレーズ等すべてをひとつひとつ味わわせていただきました。

それぞれに共通していたのは、北海道の大地、気候に触れている点でした。言葉を選び、それらを一つの聖歌にまとめていく作業が繰り返され

ました。飯野正行司祭にまとめていただきましたが、時にはほぼ最終稿に近づいたものをもう一度検討しなおすという場面にも遭遇しました。一人の作品ではなく、みんなの声を集めて聖歌をつくるというプロセスを大切に、北海道の大地の美しさ、厳しさ、恵みや、一五〇年の歴史の重み、痛み、苦しみも含めつつ、これからもともに歩んでいくという歌詞が出来上がりました。その後、作曲を函館聖ヨハネ教会信徒の佐々木茂さんにお願いました。メロディーとの一致、言葉の抑揚、アクセントと音程の関係にも配慮して、さらに歌詞や曲の一部変更も行われ、ようやくみなさんにお届けできるようになりました。

タイトルでもあり、歌詞の中でも繰り返される「ピリカ・レラ・モシリ」は「美しい風の大地」、モシリは「モシシかな、平安な、シリシ地、山、大地」という意味があります。北海道の宣教の灯(ともしび)が和人にもアイヌの人々にも

灯されたことを忘れないでいたいと思います。

大斎節中に、教区内全教会へ一五〇年記念聖歌の歌詞と楽譜、音源をお届けします。いきなり楽譜を見て歌ったり、弾いたりするのはなく、まず歌詞を声に出して読んで味わい、音源を何度も聴いて感じてから歌ってみてください。北海道の美しい風の大地を感じて口ずさめる聖歌となることでしょう。七月の記念礼拝の時には、みなさんでこの聖歌を歌って神様を賛美しましょう。ハレルヤ

GFS新年礼拝

北海道教区GFS支部長

セシリア 小澤 暢子

今年も、GFSの一年は一月四日の新年礼拝でスタートしました。例年通り、お餅つきも実施しました。前日から準備したもち米は約一八キログラム。参加人数は約三五名。八回お餅をつきました。

一時から礼拝が始まる予定でしたが、その前に幼稚園からちびっ子たちが餅つき体験にやってきました。

新年礼拝では、年の初めから大変な状況下にある方々に思いを馳せ、みんなで祈りました。直接できることは少ないかもしれませんが、祈りまじりの礼拝堂には一生懸命お祈りする子どもたちの姿がありました。

礼拝後は、参加した子ども



たちが順番に小さな体に重たい杵を持ってお餅つきをしました。最後に笹森主教も餅つきをしてGFSの活動の一年のスタートです。

ついたお餅は、みんなで丸めます。丸めたお餅を好きなだけ取って食べるのですが、毎年大人気なのがチーズのり餅。納豆や大根おろしなども用意されました。お雑煮も、よもぎ餅もできあがり、お腹いっぱい食べた後は家族へのお土産も持って子どもたちは帰って行きました。

今年もGFSは、神様に見守られながら教区の子ども達と一緒に楽しく活動していきましょうと思います。

歴史の窓2024(5) 宣教開始と 聖歌集の交わり

CMS日本伝道の先駆けは、一八四六年英国海軍琉球伝道団によるベッテルハイム宣教医の一〇年に及ぶ琉球伝道の試み。伝道団解散後の献金残金は一八五九年のCMS日本伝道開始の礎となった。一〇年後には礼拝に用いる聖歌が「たへのうた」として誕生。C

MS宣教師編集で木版刷り全五五首の聖歌集だった。CMS宣教師ウイリアムス師夫妻が函館入り、先陣のデニング師と伝道活動を開始した一八七六年には英国SPG宣教師が聖歌集「使徒公会の歌」全二六首を刊行。さらに一八八〇年、CMS宣教師ワレンとフォス編集の「真神賛美歌」全百首が「たたえのうた」の増補版ともいべき聖歌集と

して刊行される。これには初めて各聖歌の関連聖句が掲載されたという。このような記録を見ると当時の人々が礼拝のなかで初めて触れる聖歌の歌詞や曲にどのような出会ったのか興味をそそられる。これらは一八八七年日本聖公会が組織され北海道地方部が出来るまでの背景である。

歴史文書保管委員長 下田 尊久

150th 黙想会

歩き続けよ、福音の道を NSKK・HOKKAIDO since 1874

- 第1回 2月23日(金・祝)小樽聖公会 黙想指導:笹森田鶴主教
- 第2回 4月29日(月・祝)釧路聖パウロ教会 黙想指導:吉野暁生司祭
- 第3回 6月1日(土)苫小牧聖ルカ教会 黙想指導:松井新世司祭
- 第4回 8月ごろ 道北分区予定
- 第5回 10月ごろ オホーツク予定 各回とも10:00~15:00



お申し込みは申込用紙にご記入の上、開催教会に郵送またはFAXでお願いします。申込用紙は開催が近くなりましたら、各教会にお送りします。お問い合わせは宣教150年実行委員会(吉野司祭:080-3254-1675)まで。

主催:宣教150年実行委員会、宣教活動推進部信仰と生活グループ



▽旭川聖マルコ教会

一月一日の能登半島地震による甚大な被害情報から一年が始まり、七日の主日礼拝では、司祭による被災者のための祈りを全員で捧げました。

今年の堅信受領者総会は、二月の一日に決定し、準備のために委員を中心に忙しい日々を過ごしています。

二二日は主教巡回日でした。苦難の預言者エレミヤの説教、愛餐会後の主教アワーでは、「違いから生まれるものの豊かさ」をお話しされ大きな感動を受けました。

衝撃的な災害を覚えながらも、庭園で遊ぶ保育園の子どもたちの雪まみれの笑顔に癒しを与えられます。

▽岩見沢聖十字教会

「初詣は教会へ」。元旦礼拝は四家族六名でお捧げしました。その日の午後、悲しい出来事。二〇二四年能登半島地震では多くの方が被災。翌日、日航と海保の航空機衝突事故。命の尊さを知る時でした。

幼稚園では一二月からバス運転、校務の杉岡和典さんが勤務。園児からは「すぎちゃん」と呼ばれる程の人気者。どうぞ宜しくお願いします。

今回の冬休みも園庭講師二名を招いて各お部屋に新しい木の遊具を制作。ツーバイフォーの木の香りがする遊具に園児たちは大喜びです。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会 (伝道所)

二〇二四年元旦、釧路は早朝の雪掻きから始まりました。礼拝後の夕方、震度七の能登半島地震。更に二日には羽田空港でJAL機が炎上。その衝撃的な映像は人々に不安を募らせました。「またか」

そんな暗い世相に一筋の明るい光が。一四日顕現後第二主日に、笹森田鶴主教第三回目の主教巡回があつたのです。マイナス一℃と極寒の中、出席者は何と三五人も。保育士の方々、及び子ども達もママに連れられて出席です。

笹森主教の透き通った声で司式が進みます。心が安らぎます。礼拝後、集會室で主教会。食事中、主教は「聖公会一五〇周年」について、映像を用いて分かり易くプレゼンしてくださいました。感謝。

二八日には信徒総会が行われ、全議案が問題なく承認。それにしても能登半島が心配です。主よ、被災者及び地域全ての人にも恵みとみ力を。

▽小樽聖公会

一月一四日(日) 顕現後第二主日。み言葉の礼拝。池田司祭、体調を崩していたが、なお悪化、牧師館で臥す。教役者となって一六年の池田司

祭、はじめて主日の礼拝を休むという。信徒一同、回復を祈る。司祭は「臥して聞く鐘の音が美しく聖歌のようでした」。

二八日(日) 顕現後第四主日。池田司祭、椅子に腰かけて司式および説教を行う。その日、午後四時半過ぎ、聖堂に隣接する空き家から大量の落雪あり。二度あることは三度ある。礼拝堂内壁、わずかに歪む。直ちに所有者代理人へ除雪を依頼する。

▽帯広聖公会

一月一四日、主日聖餐式の後、信徒とご遺族の皆さんで、アグネス長谷部嘉子さんの、逝去一周年の逝去者記念式を捧げました。教会ホームページの利便性と内容充実のため作業グループが設けられ、毎月検討会が開かれています。

幼稚園園庭には、スケートリンクが造られ、園児たちが十勝晴れの下、寒風をものともせず元気に滑っています。牧師は、陸別まで信徒訪問の足を伸ばしています。

▽苫小牧聖ルカ教会

「あなたのみ言葉は、私の道の光、私の歩みを照らす灯」。(詩編一一九：一〇五) 新年に与えられたみ言葉。私ではなく「あなた」を求め続ける一年でありたいと願う。

教会委員選挙において、二人が入れ替わる。

一月より「能登半島地震救援募金」を当教会でしばらく集めることに。二八日の総会では、礼拝堂屋根の修繕、礼拝堂土足禁止の復活、幼稚園での協働など熱い意見が次々と。いずれにせよ、礼拝出席を第一に。宣教の視点を忘れないことが牧師より勧められた。祝福の一年を。

▽函館聖ヨハネ教会

一月一日、一五名の出席者と共に主イエス命名日をみ言葉の礼拝で守りました。七日クリスマス飾りの片付け後、新旧教会委員による総会準備、一三日は総会資料の印刷製本と、例年通りの新年の風景。今年は雪が少ないのですが、それでも重い雪が積も

るとご近所の方が除雪をして
くださいます。本当に感謝。

一四日は上平司祭による聖餐

式、その後「葬儀への備え」

等の資料を用い学びの時を持

ちました。二一日は木村夕子

司祭による聖餐式。二八日は

堅信受領者総会で新しい年に

向け心をひとつに。主に感

謝!

▽平取聖公会

一二月三二日の大晦日は信

徒の礼拝は休みの予定でした

が、井澤家長男宅の正月帰省

があり、幼児二人も出席して

聖餐式を行いました。

一月二八日礼拝後に二〇二四

年度堅信受領者総会が開か

れ、信徒六人が出席しました。

前年度の事業報告と決算、新

年度の事業計画と予算が承認

されました。委員は五名です。

小さな教会ですが、信徒と委

員のそれぞれの働きに感謝で

す。

笹森主教から新年度四月か

らも内海牧師の委嘱継続の依

頼があり、教会委員会は感謝

して同意しました。内海牧師

の牧会は一五年目に入りま

す。

▽網走聖ペテロ教会

元旦は雲の上からの少しの

初日、除雪を少ししての礼

拝。第二主日は、お雑煮を食

べて教会委員会。昨年の決算

と予算案の確認を、新旧役員

で行いました。一九日流水初

日、二二日には流水接岸。昔

に比べ薄く小塊の流水が川を

逆流し、結氷の湖河口迄埋め

尽くしました。そして二五日

は久々の暴風雪。市外道路封

鎖が続く中、教会玄関とス

トープ排気口が吹き込まれま

した。ザカリア会輪読は、聖

公会の教理編に入りました。

ペテロの会は混声二部で久々

歌い後、作業掃除に励みまし

た。

▽紋別聖マリヤ教会

穏やかな新年を迎えていた

紋別でしたが、先日の暴風雪

で一気に流水が接岸し、いつ

も通りの風景となりました。

七日の礼拝・聖餐式では、ク

リスマス礼拝に來られなかつ

た岡村姉も参加出来て、信徒

全員集合でした。また四月か

ら園長就任予定の大友崇兄ご

夫妻が来られました。幼稚園

は一七日始業式、一九日には

もちつき大会で大いに盛り上

がり、お雑煮・みたらし餅・

きなこ餅をみんなでお昼にい

ただきました。主に感謝。

▽有珠聖公会

一月二八日、主教巡回。笹

森主教をお迎えて聖餐式が

捧げられました。礼拝の中で

茅野千草さんの、聖公会への

受け入れ式と信徒按手式が行

われました。

有珠聖公会のリードオルガ

ンは、日本最古級のものです

が、歴年の痛みに耐えて礼拝

で用いられてきました。この

度いよいよオルガンの修復事

業に、「有珠聖公会記念物保

存世話人会」が中心となって

着手することとなりました。

▽留萌キリスト教会

穏やかな天候に恵まれた年

明けでしたが、能登半島地震

の発生により津波注意報が留

萌市にも発令されて緊張が走

りました。震災で今も困難な

暮らしの中にある方々を覚え

てお祈りしています。

一四日に会計監査を、二八

日に堅信受領者総会を行いま

した。信徒の高齢化に伴う困

難がありつつ、それでも宣教

活動が絶えず継続できている

ことは皆の喜びです。今年は

教区の一五〇年記念礼拝への

参加と、クリスマスを市民に

呼び掛けて行うことが大きな

目標になりました。

▽札幌キリスト教会

一月一日、能登半島地震が

起き、主のお守りがあります

よう祈るばかりです。一四日

新旧合同教会委員会があり、

今年の予定・予算・方針など

確認。特に教会の建物修繕を

最優先にと話し合われた。

二一日、オリブ会と婦人

会の総会が開かれ、その後、

オリブ会では四年ぶりに懇

親会を楽しむ。二三日、教友

の神谷正男さんご逝去。霊の

平安をお祈りいたします。

二八日、昼食後、毎月第四

主日を教会一斉清掃として復

活。これから多くの方々のご

奉仕で教会をお守りしてい

きたい。

▽札幌聖ミカエル教会

新しい試みとして、HIROBA

のホールで冬休みの宿題を一

緒に取り組む四日間を実施。

一〇人ほどの小学生たちが集

まりみんなで机を囲んでお昼

ご飯(最終日はたこ焼きパ

ティー)と午後の遊び時間ま

で、青年たちのサポートを受

けながら頑張っていました。

夏も実施予定。

幼稚園も三学期がいよいよ

開始。冬にまた一つ成長した

子ども達が園庭を賑わせてい

る。

新年最初の月もまたお二人

の方を天にお送りする月と

なった。厳しい冬、共に集ま

り、祈るひと時ひと時を大切

にしていきたいと感じる。

▽新札幌聖ニコラス教会

暖冬でも降雪量に変わりな

いようですが、排雪契約に

よって主日ごと教会周辺の積

雪は処理されて嬉しいです。

一月は七日の笹森主教の司

式の礼拝のほか、阿部芳克司

祭により元日も含めて三回の
陪餐の機会が与えられ感謝で
す。

元日には求道者の来訪もあ
るなかの一二名の出席に始ま
り、今月は出席数が増えてい
ます。二八日の代祷では当教
会の働きを全道でお祈りいた
だき、今後も多数の出席が続
くことを期待しています。こ
の日の阿部司祭の説教は、来
年が主日と重なることを前置
きにされた被献日の解説を拝
聴しました。

足を怪我された三浦執事の
ご快復のお祈りをしていま
す。

▽聖マーガレット教会

一月一日主イエス命名の日
聖餐式、マリア・グレイス田
鶴主教司式説教で行われまし
た。礼拝後ネビル館で四〇年
以上つづいている御座敷懇談
会、別名オザコンを、みなさ
ん持ち寄りのごちそうと、聖
書カルタで楽しみました。

一月一四日礼拝後、北星学
園女子高校カンボジア・スタ
ディーツアーに参加された先生

と生徒さんが来教。バザーで
残ったものがどのように用い
られたかを、生徒さんにスラ
イドを使ってくわしく説明し
ていただきました。

▽今金インマヌエル教会

一月一四日と二八日に礼拝
を守りました。新年早々の能
登の大地震、航空機事故と大
変な幕開けとなりました。石
川県は数年前に訪れたことが
あり、食物も酒も人も風景も
素晴らしく心に残っていま
す。

この地域も三〇年前南西沖
地震に見舞われ、その際には
教会関係の皆様をはじめ全国
の人達に助けていただきました
。その時のことを忘れず、
少しでもお役に立てればと
思っている次第です。

二八日の礼拝には主教様と
夫さんで来ていただき大変感
謝しております。冬の日曜日
は悪天候が多いのですが、そ
の日は樹氷ができる程凍れた
朝で、ご夫妻も大変感動して
おられました。これからも吹
雪等あるかと思いますが、皆

心配しておりますので、無理
をなさらずよろしく願いい
たします。

▽新冠聖フランシス教会

二〇二四年一月もアツと言
う間に過ぎてしまいました。
今年雪の少ない年末年始
でしたが、一月に一度だけ雪
かきに汗を流す日があり、さ
て教会の周辺はいかばかりか
と案じつつ来てみると、広い
駐車場は除雪され、きれいに
なっていました。ご奉仕くだ
さった山田さんに感謝です。

月末最後の主日では、かつ
とともに礼拝の時を過ごし
た、奥田貞子姉・熊谷和彦兄
が主のみもとへ召されたこと
を知り、あまりにも突然の報
に驚きました。沢山のご奉仕
と優しいお姿を思い、またご
家族のうえに神様のお慰めと
平安がありますように、お祈
り致しました。

▽北見聖ヤコブ教会

厳しい冷え込みは数回ほど
で後は比較的暖かな北見で
す。雪の量は少ないようです。
一月七日新年初礼拝・教会

委員会。「礼拝に出られるこ
とが喜びだ」と感謝の内に新
年をスタートいたしました。

九日中田和枝さん逝去。

一一日・一二日とご葬儀が市
内の斎場で執り行われまし
た。魂の平安と永遠の光明を
お祈りいたします。一一日ベ
ルナデッタ江口真由美さんの
逝去一年記念式が、二九日
ゲールミリアム岡瑛子さんの
逝去一年記念式がご自宅で執
り行われました。平安を祈り
ます。

▽深川聖三一教会

一月一日は大地震大災害
から始まり、能登半島の被
災者への援助の手を差し伸
べる年になりました。保育
園での礼拝光の子の時間を
一〇、二七、二四、三一日催す。
同所職員会議、園内研修は紺
野保育士による「不適切保育」
について指導あり。二二日
新旧委員会で総会議案作成。
二八日信徒総会で議案承認可
決される。今年の道北分区の
婦人会担当として当教会は企
画立案作成を開始、高木和枝

会長の指揮のもと、楽しい内
容が生まれそうです。真の婦
人会長は主の母君聖マリア、
ハレルヤ。

▽室蘭聖マタイ教会

新年あけましておめでとう
ございます。今年もよろしく
お願い申し上げます。

二月三日、信徒総会の予定
です。二一日は松井先生来会。
二月一九日ヨブ記二一章打
合せなど。また先日は病院通
いの落合敏子さんがドクター
ストップとの事でした。一日
も早く快復されますようお祈
り申し上げます。

○稚内聖公会(伝道所)

冬の悪天候の多い宗谷地
方、今月も残念ながら折り合
いがつかず礼拝を守りません
でした。早い春の訪れを待ち
望んでいます。

